

12月12日(木) 子育て講話 テーマ:「楽しもう 乳児保育」

講師の先生 佐賀女子短期大学

教授 相浦 雅子先生



講座の中で、特に印象に残ったのは、「人の育ちはピラミッドである。土台（生き抜いていく力）をしっかりと広く大きく作ることが大切である。例えば、0～1歳半までは、ゆっくりと優しく言葉をかけ、赤ちゃんが満足するまで関わる。そのことで、赤ちゃん自身に“愛されているという実感（愛着形成）”が生まれ、これが親子の信頼関係となり、子どもにとって生きていく上で必要な自己肯定感を育むことになる。またイヤイヤ期は反抗期ではなく、子どもの自己主張期である。子どもの期待に応えるということは成人後の精神的自立・経済的な自立に繋がる…。」という話や五感や絵本の大切さについても納得することばかりでした。参加された方からは、身近にできそうなことばかりで、分かりやすく、ほっとしたなど、かなり好評でした。

